科目コード	記号	科　　目　　名			
3108	CS17	生物化学 II: Biochemistry II			
教　員　名		根來　宗孝: NEGORO Munetaka			
学年	単位・時間	必修・選択	授業形態	単位種別	
3C	1・90分	必修	講義・後期	履修単位	

授業概要	
	これまでに学んだ化学、生物、有機化学などを基礎として生命の営みを分子レベルでとらえる。すなわち、細胞がどのような物質でなり立っており、それを構成する分子はどのようなものであるか、さらにそれらの分子が細胞の活動にどのように関与しているかを解説する。

到　達　目　標	評　価　方　法
(1) 生体構成成分を理解できる。 (2) 各成分の働きと性質を理解できる。 (3) 生体における種々の反応を理解できる。	① 中間試験 (40%)、② 期末試験 (40%)、③ レポート (20%) を総合して評価する。

学習・教育目標	(A)	JABEE基準1（1）	

後　　期

授業計画

回	項　　目	内　　容
第1	タンパク質と酵素 (1)	代表的な酵素反応と活性測定法について
第2	タンパク質と酵素 (2)	酵素の分類について
第3	タンパク質と酵素 (3)	反応速度論について
第4	エネルギー獲得系 (1)	エネルギー獲得系の概要について
第5	エネルギー獲得系 (2)	クエン酸回路について
第6	エネルギー獲得系 (3)	電子伝達系について
第7	エネルギー獲得系 (4)	ATP生成効率の比較
第8	解糖系	嫌気呼吸によるエネルギー代謝について
第9	まとめ	中間まとめとして試験を実施する
第10	血糖の維持機構	血糖値の調節について
第11	いろいろな代謝反応	脂質の代謝について
第12	生体内の情報伝達	細胞間の情報伝達様式について
第13	生体内の生体防御（1）	免疫系とその担当細胞について
第14	生体内の生体防御（2）	免疫グロブリンとサイトカインについて
第15	まとめ	全体の学習事項のまとめと授業評価アンケート調査を行う

関連科目	生物
教　科　書	生化学（三共出版）
参　考　書	生化学関係一般
授業評価・理解度	最終回に授業評価アンケートを行う。
副担当教員	
備　　考	